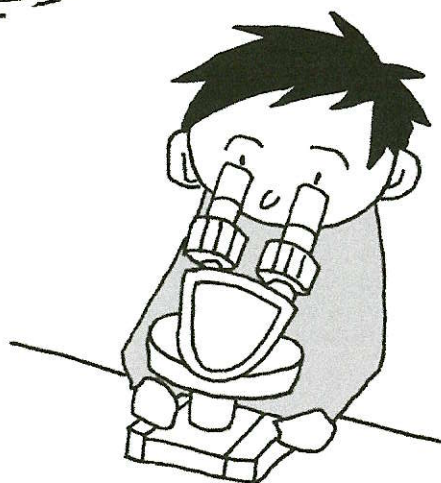
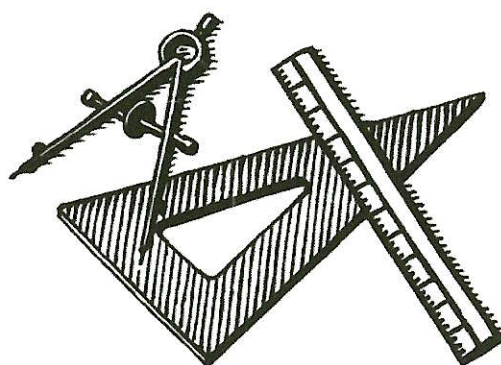
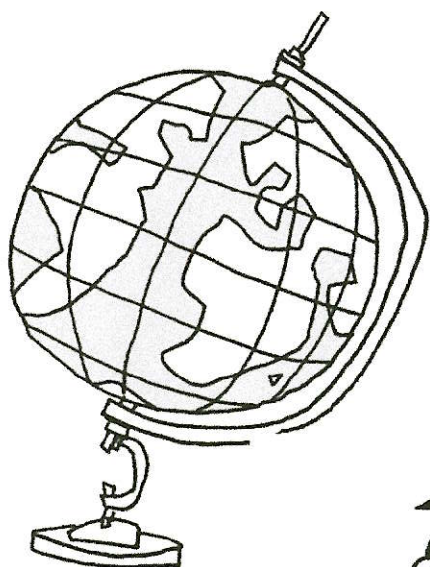


# SYLLABUS

令和8(2026)年度



枚方市立中宮中学校 1 年

## <本校における通知表評価の方法>

大阪府公立高等学校入学者選抜で目標に準拠した評価（いわゆる絶対評価）が導入されることに伴い、枚方市では通知表の形式及び評価の算出基準を市内の中学校で統一しています。この評価方法は、各教科が設定した評価の観点及び評定（総括的評価）の到達目標に照らしてその実現状況を見るものです。

### 【観点別学習状況評価】

◎A, B, Cの記号により3段階で評価します。

A：十分満足できる … 観点ごとの満点の 75% 以上

B：おおむね満足できる … // 40% 以上

C：努力を要する … // 40% 未満

### 【評定】

各観点の観点別学習状況評価を数値化し、その合計点と観点別得点合計の両方を

考慮して算出する。（両方の数値ともに満足することが必要）

①ABCの数値化 A：3点 B：2点 C：1点

②両方のカッティングは以下のとおりとする。

評価	内容	観点評価合計	観点別得点(素点)合計
5	十分満足できるもののうち、特に程度が高い	9点	85%以上
4	十分満足できる	8点以上	75%以上
3	おおむね満足できる	5点以上	40%以上
2	努力を要する	3点以上	
1	一層努力を要する	3点	20%未満

※各教科の評価材料については、「シラバス」（授業の大まかな学習計画のこと）を参照

### 【3学期の通知表】

3学期の通知表は、観点別学習状況評価及び評定ともに年間を通しての評価となります。また「総合的な学習の記録」「行動の様子」についてもあわせて記載します。

【通知表みほん】※実物はA4の大きさです。

学期

年 組 番

学習のようす

教科	観点別学習状況	評価	評定
国語	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
社会	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
数学	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
理科	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
音楽	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
美術	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
保健体育	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
技術・家庭	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
外国語(英語)	知識・技能		
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		

特別活動の記録

学級活動	
委員会	
部活動	

出席のようす

	授業 日数	欠席 日数	出停・ 忌引	出席 日数	遅刻	早退
学期						
計						

校長印	担任印

※3学期の通知表は、「道徳」「総合」の評価、「行動の様子」「特別活動の記録」「所見」がかわりますので、デザインが変更されます。

# 枚方市立中宮中学校 第1学年 国語科シラバス

## ○学習目標（教科の到達目標）

自分の見方・考え方、他者の見方・考え方を、言葉によって表現する、理解するという言語活動を通して、国語で物事を正確に理解し、適切に表現するという資質、能力を伸ばす。

- (1) 言葉の意味や文章の読み取り、表現の仕方を学び、国語の特質を理解し、適切に使えるようになる。
- (2) 他の人と関わる中で、言葉で伝え合う力を身につけ、考える力や想像する力を高める。
- (3) 国語の大切さを知り、言葉に対する感覚を豊かにし、大切に丁寧に言葉を使えるようになる。

## ○指導の重点目標

- ・ 「学び」とは、君たちが「すでに知っていること・体験していること」と「新しく学ぶこと」をつなげていくものです。だから、答えは一つではありません。学んでいく君たちの数だけ答があり、「学び」があります。授業を「受ける」だけでなく、自らすすんで、考え、学んでいきましょう。
- ・ 「対話」は、「相手との対話」、「自分との対話」「教材との対話」の三つがあり、それぞれの活動を通して、自分の「学び」を深めていきましょう。
- ・ 答を見つけるために、みんなが考えを出し合うことが最も大切です。お互いを認め合い、みんなが安心して発言できる学習環境をつくっていきましょう。

## ○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- ・ 教材ごとに「つけたい力」を確認し、「つけたい力」をつけるために、自ら積極的に取り組む。
- ・ 「わかること」より「わからないこと」を大切にして、「わからないから教えて」と訊くことから授業が始まる。
- ・ 訊かれたら、その人がわかるまで丁寧に教える。教えてもらったら、もう一度自分の言葉で説明してみる。

## ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	1. 豊かに想像する 2. わかりやすく伝える 3. ものの見方・感性を養う ・文法の学習 ・書写	・朝のリレー ・竜 ・グループディスカッション ・ペンギンの防寒着 ・クジラの飲み水 ・レポート ・空中ブランコ乗りのキキ ・字のない薬書 ・随筆	・言葉の力を伸ばすために、積極的に語句の意味や使い方、漢字などを学ぼう。 ・自分の意見や考えを根拠を明確にしながら、書いたり話したりするなどの表現する力をつけよう。
2 学 期	4. 論理的に考える 5. 古典に学ぶ 6. 情報を関係づける ・文法の学習 ・書写	・一〇〇〇円の価値を考える ・スピーチ ・月を思う心 ・竹取物語 ・故事成語—矛盾 ・防災に関するデータ ・「みんながいるから大丈夫」の布さ ・行事案内リーフレット	・ペアワークや班学習で、ほかの人の意見を聞くことで、自分の考えや意見を見つめ、さらなる深い学びを得る。
3 学 期	7. 読みを深め合う 8. 視野を広げる 9. 振り返って見つめる ・文法の学習 ・書写	・それだけでいい ・詩 ・トロッコ ・意味と意図—コミュニケーションを考える ・意見文 ・少年の日の思い出 ・グループ新聞	・国語の授業の中に自分自身なりのおもしろさやがんばる点を見つけ、前向きな姿勢で取り組もう。

\*授業の進捗状況によっては、学習する教材の順番が変わる可能性があります。

## ○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	30% (定期テスト・小テスト・授業課題など)
② 思考・判断・表現	40% (定期テスト・小テスト・授業課題など)
③ 主体的に学習に取り組む態度	30% (授業態度・提出物など)

## 枚方市立中宮中学校 第1学年 社会科シラバス

### ○学習目標（教科の到達目標）

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

### ○指導の重点目標

- ・ 課題を追究したり解決したりする活動を通して、社会への関心を高める。
- ・ 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察できるようにする。
- ・ 調査や諸資料から、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身につけさせる。
- ・ 社会に見られる課題の解決に向けて、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を養う。
- ・ 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

### ○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- ・ 学校 … 教科書・タブレットなどを使いながら、自分自身や班で考えたこと、授業のポイント(要点)を中心にプリントに記入し、理解を深める。
- ・ 家庭 … 単元の学習前に教科書を読み、基礎的な知識の定着をはかる。新聞やニュース、インターネット等を通して、社会情勢に関心を持つようにする。

### ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	【地理】世界の姿・日本の姿・世界各地の人々の生活と環境 【歴史】歴史へのとびら・古代までの日本	【地理】中学校の地理的分野の基礎 【歴史】年代の表し方や時代区分・原始～奈良時代の歴史	【地理】世界の様子や地図の読み方などは、教科書を読んだり、タブレットで調べて授業の中で考えたことを復習したりして、理解を深めてください。テレビやインターネットで世界や日本の生活や産業・文化を紹介するような番組等は、現代の世界や日本の様子を学べるので活用しましょう。
2 学 期	【地理】世界の諸地域（アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州） 【歴史】古代までの日本・中世の日本	【地理】世界の諸地域の産業や生活 【歴史】平安～鎌倉時代の歴史	【歴史】時代・人物・出来事を理解して、歴史の流れを説明できるようにしましょう。歴史用語を知るために、繰り返し読んだり・書いたりしましょう。ただ単なる暗記ではなく、歴史で学んだことを活用して新たな視点を見つけましょう。
3 学 期	【地理】世界の諸地域（南アメリカ・オセアニア州） 【歴史】中世の日本	【地理】世界の諸地域の産業や生活 【歴史】鎌倉～室町時代の歴史	

### ○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	定期テストの「知識・技能」等 (35%)
② 思考・判断・表現	定期テストの「思考」、レポート等 (35%)
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業に取り組む姿勢・振り返りシート プリント、その他提出物等 (30%)

# 枚方市立中宮中学校 第1学年 数学科シラバス

## ○学習目標（教科の到達目標）

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

## ○指導の重点目標

- ・ 計算力などの基礎学力の定着をめざす。また読解力や書く力・伝える力をはじめとする表現力の育成をめざす。
- ・ 自ら学びに向かう力の育成、他者とのコミュニケーションによって深まる思考力、さらにレポート課題などを通して、学習内容を自分の興味や関心と結びつけ考えられる力の育成をめざす。
- ・ 数学的な見方、考え方を、日常生活の中で利用する姿勢を育む。

## ○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校 …… しっかり授業を聞き、考えましょう。また自分の考えを他者にもわかりやすく伝え、自分の表現力・思考力の向上をめざしましょう。

家庭 …… 授業で間違えた所、分からなかった所を教科書や問題集などで復習しましょう。

## ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・ 正の数・負の数 ・ 文字の式	・ 正負の数の四則計算 や数の広がり ・ 文字を使った式の表 し方 ・ 文字式の四則計算	四則計算を正確に素早くできるように、毎日取り組みましょう。 文章の内容を文字を用いて式に表したり、説明することができるようにしましょう。
2 学 期	・ 方程式 ・ 変化と対応 ・ 平面図形	・ 方程式とその解 ・ 比例と反比例 ・ 直線と図形 ・ 図形の移動 ・ 基本的な作図	方程式を解けるようにしっかり取り組みましょう。 比例と反比例ではともなって変わる2つの数量関係を表・式・グラフで表現できるようにしましょう。 図形の位置関係を説明したりや作図ができるようにしましょう
3 学 期	・ 空間図形 ・ データの活用	・ 立体と空間図形 ・ 立体の体積と表面積 ・ ヒストグラムと相対 度数	空間図形の性質を理解し、立体の体積と表面積を求めることができるようにしましょ う。 ・ 大量のデータを整理したり、そこからわかることを説明できるようにしましょう。

## ○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	割合
① 知識・技能	定期テスト・章末テストなど	40%
② 思考・判断・表現	定期テスト・章末テスト・章のふりかえり・レポートなど	30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業や課題への取り組み・問題集・章のふりかえり・レポートなど	30%

## 枚方市立中宮中学校 第1学年 理科シラバス

### ○学習目標（教科の到達目標）

- ・身近な現象について、自分の考えを、正しい知識・技能をもとに表現する
- ・実験、観察を通していろいろな決まりや法則を見つけ、疑問を見つける

### ○指導の重点目標

- ・正しい知識や実験観察の技能を身につける
- ・実験や観察の結果を分析する力を身につける
- ・知識や技能をもとに、自分の考えを文章で表現する
- ・自分や他の人が表現したものを、評価、修正する

### ○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

- ▽単元や章ごとに「ゴール」を設定する
- ▽ゴールをクリアするために必要な知識や技能を身につけ、活用する
- ▽学んできたことをもとに「ゴール」を目指して取り組む
- ▽それぞれのものに対して自己評価、他者評価を繰り返し、より良いものを作り上げる
- ☆問題集、学習サイト、振り返りサイトを活用し、

### ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学期	身の回りの物質	物質の性質、気体の性質、 水溶液の性質、状態変化	◎正しい実験技能や結果の分析方法を知る ◎物質を「性質」によって区別する方法を知る
	いろいろな生物とその 共通点	植物の特徴と分類 動物の特徴と分類	◎正しい観察、記録の方法を知る ◎生物のグループ分けを通して、生物の共通点、 相違点を見つける
2 学期	いろいろな生物とその 共通点（続き）		
	光・音・力による現象	光による現象 音による現象 力による現象	◎実験、観察の結果から、その規則性を見つける ◎規則性を見つけるための実験や操作を考える
3 学期	活きている地球	身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地 語る大地	◎大地の変化の様子を表すものの特徴を知る ◎様々なもの、現象からその場の大地の変化の様 子を読み取る力を身につける ◎過去の変化を基に、今後の変化を予想し、表現 する

### ○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	
①知識・技能	各種テスト、課題成果物等	40%
②思考・判断・表現	各種テスト、振り返り、課題成果物等	30%
③主体的に学習に取り組む態度	振り返り、提出物等授業の取り組み	30%

テストには、「語句確認用の小テスト」「授業で行う単元テスト」「定期テスト」があります。

# 枚方市立中宮中学校 第1学年 音楽科シラバス

## ○学習目標（教科の到達目標）

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ生活や社会の中の音や音楽・音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

## ○指導の重点目標

- ・ 幅広い音楽活動を通して、音楽に対する感性を磨き、豊かな情操を養う。
- ・ 生活や社会の中にある音楽や音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

## ○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校・・・実技重視ですので、思い切って表現しましょう。挑戦の気持ちを忘れずに。

家庭・・・幅広い音楽に関心を持ちましょう。

## ○学習内容と学習のポイント

単元名	学習内容	学習のポイント
歌唱	「姿勢や発声の基礎を身に付け、思いを込めて明るい声で歌おう。」 「主旋律と他の声部の役割を感じ取り、全体の響きを意識して合唱しよう。」 「旋律や強弱の変化に気付き、歌い方を工夫して表現しよう。」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習を積み重ねることを意識しましょう。忘れ物は学習の積み重ねが難しくなるため、忘れ物がないように気をつけましょう。</li> <li>・ 学習内容、自分やクラスメイトの演奏などをしっかり「聴く」ことを意識しましょう。</li> <li>・ 欠席した場合、自分で学習内容を確認しておきましょう。</li> </ul>
器楽	「アルトリコーダーの基礎奏法を身に付け、安定した音で演奏しよう。」 「箏を演奏し、音色や奏法の特徴を通して日本の音楽のよさを味わおう。」 「フレーズのまとまりや強弱の変化に気付き、演奏の仕方を工夫しよう。」	
鑑賞	「旋律や強弱の変化を聴き取り、イメージと音楽の関わりについて根拠をもって説明しよう。」 「強弱や音高の変化に気付き、音楽がどのように登場人物を表現しているか考えよう。」 「日本各地の民謡の音楽の特徴に気付き、自分の選んだ民謡のよさを伝えよう。」 「オーケストラの楽器の特徴に気付き、調べたことを自分の言葉で伝えよう。」	
創作	音の強弱や速さを工夫して、場面の様子に合う音楽をつくろう。 音のつながり方の特徴をいかしてまとまりのある旋律をつくろう。 日本の音階の特徴をいかして、日本らしい響きを感じられる旋律をつくろう。	

## ○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	
① 知識・技能	実技テスト・小テスト・提出物など	35%
② 思考・判断・表現	実技テスト・提出物など	35%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み・提出物など	30%

## 枚方市立中宮中学校 第1学年 美術科シラバス

### ○学習目標（教科の到達目標）

表現及び鑑賞の活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てる。  
美術の基礎的な能力を伸ばして感性を豊かにし、他者との違いを認め合える、豊かな情操を養う。

### ○指導の重点目標

- ・自分の思いを的確に表現するために、基礎的な知識・技能を身につける。
- ・意図や工夫をもって構想を練り、見通しをもって制作をおこなう。
- ・暮らしの中の美術や文化について理解を深め、感性を磨く。
- ・作品を展示、鑑賞することで、違いを認め合い、仲間を大切にす豊かな心を育む。

### ○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校…チャイムまでに自主的に制作準備をして、見通しをもって課題に取り組む。

また、毎回の授業で振り返りを行い、継続性のある学びを行う。

すべての道具や作品を大切にす。

家庭…家庭学習での課題をしっかりと制作し、提出する。

（絵の具は3年生まで使用、1年生で購入して美術室1に保管）

### ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	デザイン 鑑賞	レタリング 色彩の基本 絵文字 作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レタリングで文字をデザインすること、美しく構成する方法を学ぶ。</li> <li>・色について学び、絵の具など多彩に表現する幅を広げる。</li> <li>・レタリングと絵の具の知識を合わせる。漢字の意味を理解して、自分だけの絵文字を完成させる。</li> </ul>
2 学 期	工芸 彫塑 鑑賞	木工 粘土 作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしの中で使われている木工作品の用途や機能性を考え、手作りで表現する。（バターナイフの制作予定）</li> <li>・感じ取ったこと、感じ取ったことをもとに粘土で表現する。</li> </ul>
3 学 期	デザイン 〈学年末テスト〉	模様デザイン 鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模様のデザインを考え、形や色彩を工夫して自分だけの模様を制作する。</li> <li>・1年間の総復習をして、色の基礎知識と技能を身につける。</li> </ul>

### ○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	
① 知識・技能	作品、テスト（知識）など	45%
② 思考・判断・表現	アイデアスケッチ、テスト（実技）、授業の振り返り 鑑賞シートなど	30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業の振り返り、提出物、授業へ取り組む姿勢など	25%

## 枚方市立中宮中学校 第1学年 保健体育科(男)シラバス

### ○学習目標（教科の到達目標）

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

### ○今年度の重点目標

- ・明確な課題目標を設定し、その目標達成に向かって協働的・主体的に取り組む態度を養う。
- ・ICTを活用する場面を設定し、生徒が主体となって問題を解決する力を養う。

### ○指導の重点目標

- ・基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・仲間を大切にし、互いに助け合って技術を向上させる。
- ・スポーツに興味・関心を持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを主体的に楽しむ生徒を育てる。
- ・保健や環境衛生面での知識を持たせる。
- ・自ら学び、考え、行動する力を身につけさせる。
- ・体育理論の分野を取り入れ、スポーツを総合的に学ばせる。

### ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	・体づくり運動 ・体力テスト ・陸上・水泳 ・保健・体育理論	・集団行動・体力テスト ・幅跳び ・クロール、平泳ぎ ・心身の発達と心の健康	・運動の方法や理論（ルール）について理解するとともに、技術の向上を図る。
2 学 期	・水泳 ・サッカー ・剣道 ・器械運動・陸上 ・保健・体育理論	・泳法習得・タイム測定 ・パス・ドリブル・シュート ・礼儀作法等・基本技術の習得 ・マット・持久走 ・健康な生活と病気の予防	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。
3 学 期	・バレーボール ・ダンス ・バドミントン ・体育理論・保健	・パス、ミニゲーム等 ・現代的なリズムのダンス ・ルール理解、ゲーム ・運動やスポーツの多様性	・課題目標の達成に向かって、互いに学び合い、主体的に取り組む。

### ○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	技能テスト、単元テスト 50%
② 思考・判断・表現	振り返りやレポート、単元テスト 25%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、欠席、見学、遅刻、忘れ物等 25%

○年間評価 1学期90点 2学期…150点 3学期…60点の割合で評価します。

## 枚方市立中宮中学校 第1学年 保健体育科(女)シラバス

### ○学習目標（教科の到達目標）

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

### ○今年度の重点目標

- ・明確な課題目標を設定し、その目標達成に向かって協働的・主体的に取り組む態度を養う。
- ・ICTを活用する場面を設定し、生徒が主体となって問題を解決する力を養う。

### ○指導の重点目標

- ・基礎的な運動能力や総合的な体力を養う。
- ・仲間を大切にし、互いに助け合って技術を向上させる。
- ・スポーツに興味・関心を持たせるとともに、生涯にわたってスポーツを主体的に楽しむ生徒を育てる。
- ・保健や環境衛生面での知識を持たせる。
- ・自ら学び、考え、行動する力を身につけさせる。
- ・体育理論の分野を取り入れ、スポーツを総合的に学ばせる。

### ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくり運動</li> <li>・集団行動</li> <li>・器械運動</li> <li>・水泳</li> <li>・保健・体育理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団行動・体力テスト</li> <li>・マット</li> <li>・クロール、平泳ぎ</li> <li>・心身の発達と心の健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の方法や理論（ルール）について理解するとともに、技術の向上を図る。</li> <li>・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。</li> <li>・課題目標の達成に向かって、互いに学び合い、主体的に取り組む。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水泳</li> <li>・リレー</li> <li>・剣道・ダンス</li> <li>・陸上</li> <li>・体育理論・保健</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイム測定</li> <li>・バトンパス、リレー練習等</li> <li>・礼儀作法等・ダンス</li> <li>・幅跳び、持久走</li> <li>・健康な生活と病気の予防</li> </ul>	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー</li> <li>・バレーボール</li> <li>・バドミントン</li> <li>・各種スポーツ</li> <li>・体育理論・保健</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボール慣れ、パス</li> <li>・ボール慣れ、ミニゲーム等</li> <li>・バドミントン等</li> <li>・運動やスポーツの多様性</li> </ul>	

### ○通知表の評価について

評価の観点	評価の要素及び評定（5段階）にしめる割合
① 知識・技能	技能テスト、単元テスト 50%
② 思考・判断・表現	振り返りやレポート、単元テスト 25%
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、欠席、見学、遅刻、忘れ物等 25%

○年間評価 1学期90点 2学期…150点 3学期…60点の割合で評価します。

# 枚方市立中宮中学校 第1学年 技術・家庭科シラバス

## ○学習目標（教科の到達目標）

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

## ○指導の重点目標

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を見いだす。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## ○授業の進め方（※授業を受けるにあたっての留意点）

学校 ……しっかりと話を聞き、授業に興味関心を持って前向きに受けること。特に実習では、勝手な行動をしないで、指示通り行き安全に注意すること。

家庭 ……家での手伝いを積極的にすること。

## ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
	●ガイダンス	・技術・家庭科の目標	・これまでの家庭生活や小学校家庭科の学習内容を振り返る ・中学校技術・家庭での学習内容に興味をもち、3年間の学習の見通しを持つ
技 術	●生活や社会における技術の役割 ●材料と加工に関する技術 ●材料加工	・材料 ・設計 ・木材加工	・技術の進展のようすがわかり、身近な技術に興味を持つ。 ・製作図の描き方がわかる ・木材の性質や加工の方法を理解する。 ・立体の描き方がわかり、きれいにかけるようになる。 ・簡単な木製品を安全に製作できる。
家 庭	●私たちの家族と家庭生活 ●私たちの衣生活 ●私たちの住生活	・自立と共生 ・協力と協働 ・衣服の選択と手入れ ・生活を豊かにするために ・住まいの役割と安全な住まい方	・自分の成長を振り返り、成長や生活は家族や地域・社会に支えられていることに気付く ・衣服の働きと活用や選び方を理解する。 ・日常着の手入れができるようになる。 ・布を用いた製作ができる。 ・持続可能な衣生活を工夫する。 ・住まいの役割と住空間を理解する。 ・住まいと気候風土の関りを理解する。 ・清潔で安全な住生活について考える。 ・災害への備えと対策を工夫する。 ・持続可能な住生活を工夫する。

## ○通知表の評価について

評価の観点	評価の方法	
① 知識・技能	作品・作品レポート・定期テスト	40%
② 思考・判断・表現	作品・レポート・発表・定期テスト	30%
③ 主体的に学習に取り組む態度	実習・レポート・振り返り	30%

# 枚方市立中宮中学校 第1学年 英語科シラバス

## ○学習目標（教科の到達目標）

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

## ○指導の重点目標

- ・外国語（英語）を学ぶことを通して、広く世界を知り、世界の様々な人々を尊重し、交流することの大切さを育ませる。
- ・生徒のモチベーションを上げられるような題材を選び、学習した英語を実際のコミュニケーションに活用できるように指導する。
- ・NET(外国人英語実習助手)の授業を多く取り入れ、実践的な英語コミュニケーション能力を身につけさせる。
- ・ICT 機器やデジタル教科書の活用について研究する。

## ○授業の進め方と家庭学習（※授業を受けるにあたっての留意点）

- ・学校…しっかりと話を聞くとともに積極的に活動に参加し、自己表現力を養っていくこと。  
失敗を恐れず、ペアやグループなど、友だちと協力して、授業に参加すること。
- ・家庭…授業での内容を復習し、出された宿題や問題集をしっかりとやること。  
単語や熟語など、何度も繰り返し学習し、「書くこと」を意識して、スペルミスのないように丁寧に覚えること。

## ○学習内容と学習のポイント

	単元名	学習内容	学習のポイント
1 学期	Get Ready1～3 PROGRAM1～3 Our Project1	小学校の学びを復習 英語の音と文字 be 動詞、一般動詞、 can の文、 where/when/what	・アルファベットの読み書きをしっかりと覚えよう。 ・小学生で習った表現を復習し、あいさつや数字、曜日など英語の基礎単語を使えるようにしよう。 ・be 動詞や一般動詞など、英語の基本的なルールを覚え、表現につなげよう。
2 学期	PROGRAM4～7 Our Project2	This(That) is him/her、who/why/how 三人称・単数・現在形 There is(are)	・三単現の s や疑問詞、There 構文など英語独特の表現や語順が出てきます。使い方のルールを覚え、何度も繰り返し学習し、表現活動を中心に理解を深めていこう。
3 学期	PROGRAM8～10 Our Project3 1年間の復習	過去形(be 動詞) 過去進行形 未来を表す表現	・時制について学び、自己表現につなげていきましょう。 ・1年間で身につけた英語を活かして、実際にたくさん使ってみよう。話したり、書いたりする活動が増えますので、積極的に取り組もう。

## ○通知表の評価について（めやす）

評価の観点	評価の方法
① 知識・技能	40% （定期テスト・単元テスト・課題など）
② 思考・判断・表現	30% （定期テスト・単元テスト・プレゼン・課題など）
③ 主体的に学習に取り組む態度	30% （振り返り・プレゼン・提出物など）